

2020 年東京パラリンピック，実施 22 競技が決定

国際パラリンピック委員会（IPC）は 1 月 31 日に理事会を開き，2020 年東京大会（8 月 25 日～9 月 6 日予定）で実施する 22 競技を決めた。競技数は 16 年リオデジャネイロ大会と同じで，同大会で実施される 7 人制サッカー（脳性まひ）とセーリングが外れ，バドミントンとテコンドーが初めて実施される。

IPC は昨年 10 月の理事会でまず 16 競技を決定。最大 23 競技を枠として協議を進め，今回の理事会でカヌー，柔道，自転車など 6 競技を追加した。

実施競技は次の通り。陸上，アーチェリー，バドミントン，ボッチャ，カヌー，自転車，馬術，5 人制サッカー（視覚障害），ゴールボール，柔道，パワーリフティング，ボート，射撃，シットイングバレーボール，競泳，卓球，テコンドー，トライアスロン，車いすバスケットボール，車いすフェンシング，車いすラグビー，車いすテニス

（福祉新聞・第 2703 号 2015 年 2 月 9 日）